

# どんな家を わたしのために建てる？



感謝します、グリーン兄弟。これは光栄なことです。グリーン兄弟とグリーン姉妹、そして今朝ここにおられるすべての方々にご挨拶を申し上げます。この礼拝所に来られたこと、数少ない発言ができることに、これは私に与えられた特権だと感じます。

2 この場においてグリーン兄弟の時間を取りたくありません、なぜかというと何度かグリーン兄弟の話を聴いて、話していて、私は間違いなく彼に影響され、謙虚でありながら、私たちに主の言葉を届けてくれました。昨日彼は言いました、「私は主から言葉を得ることはありません、おそらく啓示によって来るため、そーそれは送られてきたこと、しかし、」彼は言う、「私ー私はあらかじめ定められたことを強調したい。」彼は言った、「パウロが聖書に何かを書いていたときのように、私がここに訪れたのはあらかじめ定められたことを強調したい。」彼は言う、「私に言葉はありません、強調したいのは主からあらかじめ定められたことだけ。」これには本当に驚き、あーあの若者のように、あのような発言をして、私たちは注目すべきことです。

これからお祈りの言葉をしましょう。

3 親愛なる神様、何から始めれば良いのか私にはほとんど分かりません、今日ここに貴方がいると感じていて、そしてあなたの存在が私達という存在を常に小さく感じさせます。この特権に私ー私は感謝します。主よ、今、あなたこそが私達にこの場を与えて下さったことを、私たちがここで会う度にあなたが会って下さることを祈ります。そしてあなたの偉大な御霊がこの町に働きかけるように！この終わりの時に私達に与えられそして我らの手に贈られてきたこの福音の教えを

伝えられるよう、成就し、命に定められた魂をツーソンから及び、その周辺の全てから救い出せますように。これらのことを、父よ、イエス・キリストの御名によってお与えてください。アーメン。

4 私言いたいこれらの言葉を発言する前に、今日の朝ここで聖書の詩を少し読んでみたいと思います。使徒行伝の第7章、使徒行伝にあります。そしてそれらを目掛けているその間、第44節から始めましょう。

5 さて一連の礼拝のために、私たちは今週、来週、シュリーブポートへ行き、主のお望みなら、私たちは行くつもりです。ムーア兄弟、ジャック・ムーア兄弟は、ピアリー兄弟と私のとても良い友人であり、私たちはジャック兄弟を愛しています。私が思うのは、この教えは、特にいくつか大切にしているものまたは私達が信じていることに、彼を少し困惑させていて、そーそれらは解け開いた七つの封印を通じてやって来られ、私たちが信じているように、例を言えば、「悪魔の種、」と「信者たちの永遠の保障、」いーいくつかの教え、などなど。それは、おそらく他の人からしたら・・・私たちにとっては難しいとは考えないが、しかし、これは、真実に対して心を開かなければならない。私たちは終末の中に生きてると一と信じています。私たちにとってはとても現実的であり、私たちは道の終わりにたどり着いています。

6 他人の教会で話すには、さて、彼の教会に来る機会を与えてくださったと一共に親切にしてくださった人に敬意を表したいと思います。そして私は、彼らが、それを信じていないことについてももちろん知っています、私は彼らを十分に尊重します・・・述べる以外に、それらについてはたくさん話すことができます；聖なる霊によって少し後押ししてくれない限り、わかりますか、彼が言ったことをきっと間違いなく私は言うだろう。私はそれら以上のことは何も知りませんですし、それら以上について学ぼうとは望みません。わかりますか？主の言った通りに私たちは言いましょう。

そーそれでは使徒行伝の第7章のな一中から一節または二節を読み、第44節から始まります。

わたしたちの先祖には、荒野に、あかしの幕屋があり、それは見たままの型にしたがって造るようとモーセに語ったかたのご命令どおりに造ったものである。

この幕屋はわたしたちの先祖がヨシュアに率いられ神によって諸民族を彼らの前から追い払い、その所領をのり取ったときにそこに持ち込まれ次々に受け継がれて、ダビデの時代に及んだものである；

ダビデは、神の恵みをこうむり、そして、ヤコブの神のために宮を造営したいと願った。

けれどもじっさいにその宮を建てたのはソロモンであった。

しかし高い者は手で造った家の内にはお住みにならない；預言者が言っているとおりである、

天はわたしの王座、・・・地はわたしの足台である：主が仰せられる：どんな家をわたしのために建てるのか：わたしのいこいの場所は、どれか？

これは皆わたしの手が造ったものではないか？

聖書の詩を、朗読するにあたって、ピアリー兄弟が朝の教えを述べる前にいくつか伝えたいことがあります。

7 今までツーソンを訪れた中でもっとも素晴らしい瞬間だと気づきました。なぜならここに訪れたのは私に導きがあったからです。ここに来られたのは聖なる霊が、幻を通じて、私はここに導かれました。おそらく、奇妙に思えるかもしれませんが。しかし彼は、私が知っている限り、私が神について知っている限り、幻によって私はツーソンに導かれた。この砂漠の地に私はなぜ送られたのか不思議に思います。そして、ここにあるところ・・・

8 靈的に言えば、都市の至る所に、ツーソン市ほど、靈的に死んでいる場所を知りません。教会同士の争いがあります。信徒たちの間には騒動があります。まとまりが無く、みんなが争って、掴み合い、搾り取り合い、これを手に入れようとし、布教しています。靈的に、それも、砂漠です。

9 しかし私は聖書を読んで、神がモーセを愛する者たちや大切なもの全てから呼び出して、聖書の掟を書かせるために、荒野に送られました。あれは旧約聖書でした、創世記、レビ記、そして、申命記、出エジプト記の最初の四冊です。彼・・・私は順番通りに言ったわけではなく、それでも四冊の書物があります。それが本当の旧約聖書です。なぜなら、それ以外は預言者が言ったこと、ダビデの詩篇など、そして、王達の歴代誌。しかしこれが旧約聖書の根本的でした。モーセは祖国から呼び出された後に書き、つまり彼の民のうち彼が生まれ育った場所から呼ばれ、これらの旧約聖書の書物を書くために、砂漠に送られました。

10 それから私は新約聖書にたどり着いて、パウロが著者なのか、いいえ、そうでは無く、新約聖書の書き手であることが分かります。彼もまた、自分の民から追い出され、霊に導かれ、アラビアへ向かっていき、そこで三年半の間、彼は神の靈感を求めました。そしてパウロは新約聖書の主な書き手です。これこそ、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネはいますが、彼らはイエスの言ったことに沿って従い書き留めた書記者です。が、しかし、テモテへの手紙、ローマ人への手紙と、ヘブライ人への手紙、などに引き継ぎ、新約聖書を書くためパウロは靈感を受けました；旧約聖書を全て影として受け取り、それを整理し新約聖書を作りました。そして神はそれを尊重し、新約聖書をつくりました。

11 もし旧約聖書が追い出されなければならなかったとしたら・・・旧約聖書を書く靈感を得るために、作家は民から追い出され、荒野に行かなければならなかったのです。そして新約聖書では、書き手は著者によって、砂漠に追い出され、新約聖書を書くために靈感を得た。そしてその書物は七つの封印

で封じられています；七つの封印を開き解くためにも、私は、同じ事が、今でも必要だと信じています。自分が大切にしているもの、大事にしていること、人々から与えられた小さな家、すべての人々の中と友人達、そして教会は何一つ欠けること無く、繁栄しました；その一そのためには、そこを離れ、そこからすぐに立ち去り、砂漠には誰ひとり知らないし、自分に対して全てが敵対します。

12 しかし神には何かがあり、自分自身の考えよりはるかに超えたことをするように駆り立て、そうしたら栄光と誉れが神に帰っていきます。自分自身の榮譽のためではなく、私はこーこのように思えるが、大切なものをすべて捨て、荒野に入り人生の中で一度も経験したことがない苦しみを味わうことに私は特権を感じて、この荒野、またはこの砂漠に。しかし私は信じている、神が命じたことをこなし従うことによって、神はこの終わりの日の奥義を私たちに明らかにして下さいました。そして、私達はこの教えとともにここにいる。

13 今、私について来てくれる人はたくさんいて、それは珍しいことではありません。普段私たちは・・・人々は互いに、愛し合い、愛があるこそ、思ってもいなかったことができるようになります。そして、あなた方の多くは、自分の家を離れ、全て残し、この砂漠にただ来たのです。

14 多くの人が私に問いかけてきました、「一緒にアリゾナに行きませんか？アリゾナは私たちにとって良い場所ですか？」さて、モーセと彼らが言ったように、そこは果物の産地でもなければ、ザクロができる場所でもありません。

15 ここでは仕事が少ないし、贅沢の生活もしている、生活費も高い。アリゾナ、ツーソン；住むには本当に荒れた場所であり、賃金は低い、そーそして食費は高い、家賃も高い。そういう意味では住むには最悪な場所です。でも健康的で、乾燥している。私たちは時々・・・この世のものに心を奪われてはいけません。

16 聖霊の導きに私たちは目を向けなければなりません。こ

こを訪れ、そして人々に伝えることにひとつ悩まされまして、「さて、君が来るべきではない、」または、「君は来るべきだ、」それは各個人に任せまして、一人一人がやれるように神が導いてくれます。私は全員がそうするべきだと思い、何をすべきか、聖霊に導かれなくてはならない。

17 ここにいる皆さんの多くはジェファーソンヴィル周辺の出身で、その信徒で、ここに出てきていらっしゃいます。さて、私が気になったのは、礼拝の場所です。

18 そして、私がここで聖書を読んで気づいたのは、ステファノと彼の死の直前の演説についてです；その後すぐに彼は石で打たれましたが、その教えのためです。彼は話しながら、「私たちの父祖たち、」初期の頃のヘブル人について話し、彼らは神の前に好意を見出そうとして、礼拝の場所を建てようとした。彼はいいました、「ソロモンは神のために家を建て、または建物を建てました。」私たちはその物語を知っています。

19 しかし私は彼の次の言葉が好きです、「いと高き方は、手で造られた家には住まわれない。」イザヤ書の別の箇所では、彼は、「『体を備えて下さった；わかりますか、犠牲や供え物、建物、などではなく、体を備えて下さった。』」つまり、私たちは彼がああ時に言っていたのは、キリストは神の住まわれる体であるということが理解しました。

20 私は信じています、靈感がもたらしたことで、グリーン兄弟とグリーン姉妹をこちらに導いてくれて、東部の方に、住まいを諦めて残し、また、テキサスを・・・戻って、こちらに来られ・・・何もない状態で始める；ただ靈感によって、自分たちならできると感じました。どんな犠牲を払っても、キリストの導きに従おうとする人々を私は高く評価します。

21 世界中の人たち、もしかしたらあなたの親友たちも、あなたが間違ってると思っているかもしれないけれど、あなたにとっては間違っていないんです。その背後に何かがあると感じている限り、それは神があなたを動かしているんです；それは間違えないし、いつもうまくいっています。

22 この若い夫婦を見てください、才能ある若者です。彼がここに座っているから言ってるわけではありません。この若い女性は赤ん坊を抱え、彼の家族を育て、彼は仕事も何もかもやめて、ここに引っ越してきました。

23 何年前、私は聖職者として呼ばれたことを実感している。私は成功した牧師にはなれません、私にはさまよい、落ち着きがないような精神があります。どこにいても満足できません。聖霊が導くところに、これらと一緒にいかなければなりません、なぜかという私には教えがあるからです。イエスは、「この町でも宣教しなければならない。」

24 しかし羊飼いと群れを守る者たちがいます。ピアリー兄弟が聖霊の導きに従ったおかげで、今日私たちは幕屋を持つ事ができました。それは小さなものです。始めるには十分、聖霊が何をするかを見るために・・・わからないこともありますが、一歩ずつ進んでいこうと思います。さて、私は信じています、神がグリーン兄弟とグリーン姉妹に、ここに来るようにと語られ、子供たちが日曜の朝；自転車に乗ったりする代わりに、道路を走り回ったりする代わりに、この場所を開いて下さったのだとしたら、座ってラジオで聞いたことをただなんとなく聴くのではなくちゃんと礼拝に来れる場所があるということに、それは良いことです。

25 しかし私たちは、この人々のグループとして、私たちには今日のための教えがあります。神が、私たちに教えを与えて下さったと信じています。そして、グリーン兄弟は、私の同僚と呼ぶつもりはありませんが、なぜなら私たちは・・・まあ、私の、同僚でもあり、この教えと、共にいます。グリーン兄弟は私が信じていることと同じこそして同じ教えを説教します。彼は自宅を離れ、人々を離れ、自分の教会を離れました。彼は、私が信じているように、なにかの組織、または地区監督だったと思いますが、この教えを聞いたとき全てを捨てました。彼は今、神が私たちに与えてくれている物をサポートするために、自分にとって大切なにしている全てを捨てて、砂漠に来ました。

26 それが私たちの心の中だけにあるべきものではないと私は信じており、彼を支えるのは我々の義務であるべきだ、私たちにできることのすべてを、礼拝に参加し、崇めるためにここに来て、そこでここを神が私たちに啓示すべきことを明かしてくださる場所にします。そして彼の言葉通りである、「教えは聖霊を与えることによって私にもたらされるのではない、おそらく私たちの何人かはそうであり、でも、」彼は言いました、「私は神が与えて下さったものを微力ながら尽くすためにここにいます。」なんという発言でしょう！私は信じています、もし私たち全員が一致協力するならば、私たちの心も込めます。

27 私は知っています、皆さん一人ひとりが私のように感じるとしたら、神の御霊が動くのを見るのに飢えていて、私は耐えることすらできません。ちょうど山の上でいくつかの経験を、もう一度感じるために、初めて救われたときに何かが私の心にとっても栄光に満ちていました！ある場所に来て、座って、私たちが乾き切っているところを間に見ることができる。私たちが砂漠に座って、私は兄弟の中において、彼らは私と話し合いそして私は彼らと話し合ったりします；いつも、少し見ているのだが、聖霊と一緒にいると感じて、その、兄弟の状態を見たり、何が問題なのかを見たりします。私たちが皆、御霊から離れていくのを感じ始めました。それは私達にとってあまりにも自然なことになっています。私たちは神の御霊がおられる、霊の中で礼拝しなければならない・・・私たちの教えが時の炎であるだけでなく、私たちの心の炎であるべきです。わかりますか？そうでなければ私たちは、そーそれを人々に正しく示すことができません。御霊が、教えを詰め込まなければならない。そして私はあなた方一人ひとりが本物のクリスチャンになることを信じ、信賴しています。

28 日曜の学校の教師を彼らは必要としています。彼らには人員を必要としています。あなた方が十分に理解してもらうために言いたいのです。これは私の教会です。

29 私はここに来て3年です。そして、私には一つの扉が開



かれました、それはマック兄弟が私に説教をするように頼まれました。神が彼を祝福します。私は他の誰からも招待されたことはありません；彼らに対して何の反感もありませんし、問題ありません。ブロック兄弟は、私の良き友人で、ギルモア兄弟、ここにいるペンテコステ派の兄弟たちの多くは、私のとても、とても深い良き友達です。私は彼らのことを愛しています；彼らに対して何の反感も持っていません。私は彼らの立場を理解しています。彼らは私をそこに招待し、そして彼らの組織に留まること。わかりますか、彼らにはそれをするのが出来ません。なぜならば、そうすることで彼らは追い出されます。そうすれば彼らの立場が分かります。私も同じことに直面しました。しかし、私は、それが常に、「まず神の国と神の義とを求めなさい、」神の御心のままになりますように。

30 そして今、グリーン兄弟は、神は彼をここに送り尊い信仰の教会を開いて下さいましたことを信じて、私たちは神に大いに感謝し、あらゆる礼拝に参加し、出来る限り全ての場所に参加しなければなりません。もし、私達が呼びかけ、祈り、求め、実行することを求められたならすぐに兵士になり・・・ただそれを行うことを心から望むこと。わかりますか？

31 教えを尊重し、正しい生活を送ってください。汚らわしいものに入り込まないでください。今はもう遅すぎます。私一私達はその時代においては遅すぎます。清くいきましょう。さて、私の人生、あなたの人生、私たちの全ての人生は、神の前に迎えられる必要があります。

32 私たちの若者たちは乗り回し、場所から場所へ、ショーからショーへ、そして神から遠く流され離れていきます。そうです。今、それが事実です。私の子供たちにもありましたし、そして私自身がそうでない場所に行くのを見ます・・・あなたは、神を礼拝するためには、あなた自身が集う必要がある；聖書は言いました、「日が近づいているのを見て、よりもっと集まらなくてははいけない。」もしここに二人しかいないとしたら、あなたはその内の一人になってください。そして今・・・も

し皆さんと一緒に来て一緒に礼拝し、ただ私たちは、別の何かがあり、イエスは言いました、「ふたりまたは三人がわたしの名によって集まっている所には、わたしもその中なかにいるのである。」

33 さて、以前言ったように、グリーン兄弟はおっしゃっていて、このように述べました。私の妻が来て、私がいないうきに彼が言ったことを教えてくれた。そして今朝彼は言った、「説教壇いつでも開いています。」普段なら・・・それは、私が話すために開かれています。

34 神から与えられた教えを伝えるために、普段、インディアナ州の、ジェファーソンビル、まで運転し、人々に送り届けた；インディアナ州、ジェファーソンヴィルまで行き、そして一人一人が国を横断し、電線ともものをつないだりしながら、教えを受け取れ、なぜならそれによって生きているからです。わかりますか、僕らはそのためにここにいます。もう、そうする必要がありません。

35 神が私に教えを与え、説教壇に向かって歩き、説教ができて私はそれらを自由にすることができる。そう。もし、あなたが今この教会、この人々の集団のために立っておられるなら全能の神があなたを祝福くださると、私は信じています。それだけではなく、もし他の人達が入って来られなければ外に出てみましょう。わかりますか、どんな場所でも、私たちの教会とそれが何を意味するかを彼らに話しましょう。私たちの教会とは・・・私たちはここにいます。私たちは見知らぬ人も含め、あなたに来てほしいですし、そうすればきっとみんなのためになります。わかりますか？私たちには建物があり、それについては感謝しています。集うことができるこの場所に、私たちは感謝しています。

36 しかし、「いと高き者は手で造った家の内にはお住みにならない、わかりますか、『天はわたしの王座、地はわたしの足台である；わたしのいこいの場所はどれか？わたしのためにからだを備えて下さった。』」

37 そして私たちはキリストの体なのです。そのように私たちは建物から別の建物へ移動するとき、教えを伝えるために、私たちは降りて来て、そして癒しのための礼拝ができると私は信じています。そして主が私たちに啓示されたことはなんでも、私たちはこの教会でそれを行い、それらが大きく膨らむまでどこか別の場所、次の場所に持っていかなければならない、イエスが来られるそのときまでに。神の祝福を。[テープ上の空白—Ed.]

頭を下げましょう。

38 親愛なる神よ、この壇上に立つとき、私たちは、この祭壇の上いることを象徴し、この地上に関する限り、わー私たちは滅びゆく民族であることを自覚します。私たちは通りを見渡すと至る所に罪が書かれており、主の栄光が急速に去っていくのを目にします。そして私たちは知っています、主の栄光が昇るとき、教会もそれとともに昇ることを。神よ、私たちはそこにいたいのです。

39 数日前、この街角に立ってしまして、ちょうど向こう側の通りに、そのパレードが通りに沿って行くのを見ました；そして第一次世界大戦の古い戦車が先頭を走り、それから大きなシャーマン重戦車がやってきて、その後ろに何台も何台も続き、そしてゴールドスターの母達が続く；小さく壊れてしまった家族と、涙を流す妻、ボロボロの小さな男の子は父親を亡くし、年老いた母親は息子を失いました。街角に立ってそのようなものが過ぎ去っていくのを見て、私は「なんて悲しい、」と思いました。それから気がつくと、彼らがこの建物を通り過ぎたときには、音楽が見よや、十字架の**に**変わっていました。彼らの行進曲を奏でながら、後ろに；彼らが通った地点で！


40 親愛なる神よ、私はもう一つの偉大な時が来ることを考えています、それは復活であり、昔の人たちが最初に来られ、聖人たち、族長たち。「生きながらえて主の来臨の時まで残るわたしたちが、眠った人々より先になることは決してないであろう；神のラッパの鳴り響くうちに、キリストにあって死ん

だ人々がまず最初によみがえり。」私たちがその素晴らしいものを見たら・・・行く人々だけ、空を行進する；私たちは、立って、自分たちの変化を待ち、私たちも列に並ぶことを承知しています。神様、私たちを忠実な兵士にして下さい。

41 本当の戦争が何を意味するかは、戦争に関わった参加した人たちだけが知ることができ、それらの戦車の転がりを見るために。そして、神様、人生の戦いにあった者たちだけがその意味を知ることができて、よみがえり上に行くには、私たちは、落ち着くべき所に落ちて順番を待っています。

42 そして、ここに、私の年下の兄弟が立っています、訓練され、準備され、服を着て、老人が手を置いてもらうのを待っていて、老いたベテランは前線に立ち、そして彼も戦いに加わらなければならないことを、知っています。親愛なる神様、ふさわしくない手をあなたの代理を象徴し、私の兄弟に手を置きます。親愛なる神よ、グリーン兄弟を、イエスの御名のもと祝福して下さい。主よ、彼がこの教えをこの街に、そしてあなたが彼をお呼びになる場所にどこへでも運ぶことができますように。彼が忠実で、御霊に満たされ、非難されることのない人生を送りますように。神よ、彼に人々の心を持たせ、私たち皆が歩みたいと願う道を彼が彼らに教え、導くことができますように。主よ、それをお与えください。

43 彼の忠実な妻、彼の幼い子供たちを祝福して下さい。この地上で一緒に、クリスチャンの兄弟としての我々の努力を祝福してください、我々がこの福音を地の果てまで伝えることができますように。神よ、彼にあなたの御霊をお与えください。彼をあなたに委ね、我らはイエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

ペアリー兄弟、神の祝福がありますように。神の言葉を携えて行って下さい！ 

65-1121 どんな家をわたしのために建てる？

ツーソン・タバナクル

ツーソン, アリゾナ州アメリカ合衆国

JAPANESE

©2024 VGR, ALL RIGHTS RESERVED

VOICE OF GOD RECORDINGS

P.O. Box 950, JEFFERSONVILLE, INDIANA 47131 U.S.A.

[www.branham.org](http://www.branham.org)

## 著作権表示

すべての権利を留保しています。この本は、個人使用のために家庭用プリンターで印刷されるか、イエス・キリストの福音を広めるための手段として無料で配布することができます。この本は、販売、大規模な複製、ウェブサイトへの掲載、検索システムへの保存や他の言語への翻訳、または Voice Of God Recordings® の書面による明白な許可なしに資金集めなどに使用することはできません。

詳しい情報や入手可能なその他の資料については、お問い合わせください：

VOICE OF GOD RECORDINGS

P.O. Box 950, JEFFERSONVILLE, INDIANA 47131 U.S.A.

[www.branham.org](http://www.branham.org)